

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ミツウロコグループホールディングス（証券コード:8131）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的

■格付事由

- ミツウロコグループの純粋持株会社。LP ガス販売では国内上位の販売実績を有しており、これを主力とするエネルギー事業が安定収益源となっている。また、再生可能エネルギーによる発電や電力小売・卸売を行う電力事業、清涼飲料水の製造販売や小売店舗を運営するフーズ事業、不動産賃貸および複合商業施設運営を手掛けるリビング&ウェルネス事業など多様な事業を展開している。当社はグループの経営戦略策定や経営管理を担っており、一体性が強いことから格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 足元の業績は弱含んでいるものの、今後も底堅く推移することが見込まれる。エネルギー事業はLP ガスや石油製品の販売が安定しており、業績に寄与している。他方、電力事業は21/3期および22/3期に仕入調達価格高騰の影響を受けて利益が悪化している。23/3期以降は改善に向けた対応が図られると見られるが、足元で発電用燃料の価格は高騰しており、今後も電力仕入調達価格の動向に注意を要する。財務内容は良好であり、当社の信用力を支えている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 22/3期経常利益は21億円（前期比65.0%減）と大幅な減益が予想されている。電力仕入調達価格の高騰が減益の主因となる見込みである。23/3期以降はエネルギー事業を中心に一定の利益を確保していくと想定される。フーズ事業およびリビング&ウェルネス事業は一部でコロナ禍の影響を受けているものの、業績全体へのインパクトは限定的である。他方、電力仕入調達価格が高止まりする可能性があり、電力事業の利益を回復できるか注視していく。
- 自己資本比率は22/3期第3四半期末56.5%（21/3期末64.0%）と企業買収に伴う総資産の増加によってやや低下したものの、引き続き良好な水準にある。手元流動性が有利子負債残高を上回っており、財務基盤は強固である。今後、事業拡大に向けて国内外で積極的な投資を実施していく予定であるが、一定の財務規律を堅持していく方針であり、強固な財務基盤が維持されることが考えられる。

（担当）殿村 成信・水川 雅義

■格付対象

発行体：株式会社ミツウロコグループホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年2月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「石油」(2020年5月29日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ミツウロコグループホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル